

2024年度 Monthly Global Seminar を開催しました

令和6年度教育改革・生涯学習・国際交流推進委員会による「Monthly Global Seminar」が開催されました。今年度は計 5 回、国際的に活躍する医師や看護専門職による講義やディスカッションを行い、多くの学生・教職員にご参加いただきました。

【実施内容】

- ・6 月 21 日 UNFPA のボリビアでの妊産婦死亡率低下への活動・日本での助産師経験をどのように国連の仕事に活かしていくか 助産師:木下 倫子先生
- ・10 月 4 日 コンゴ民主共和国における HIV・結核感染妊婦の診療経験 地域ケア開発研究所:Muzembo Basilua Andre 先生
- ・11 月 28 日 The midwifery programs and research at the University of Newcastle ニューカッスル大学:Lyndall Mollart 先生
- ・1 月 9 日 アフリカにおけるエボラ出血熱 地域ケア開発研究所:Muzembo Basilua Andre 先生
- ・1 月 27 日 ニューカッスル大学大学院修士課程について ニューカッスル大学:大村 美恵子先生

発表者からは、看護職としての国際的な活動を通しての経験や、コンゴ民主共和国での HIV・結核・エボラ出血熱の実態、ニューカッスル大学での研究を通しての経験や看護教育課程についてなど、様々な経験をお話いただきました。

文化や生活、宗教など、日本では感じることのできない多文化社会の特徴や、海外での医療や看護の実践について具体的に教えていただきました。

国際交流について関心をもっていただけるよう、今後も様々なイベントを企画したいと思います。

